

総務企画委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 平成30年8月20日（月）～8月22日（水）

◆調査先・調査内容

①古民家カフェ北房あざえ茶屋（岡山県真庭市）

調査内容：街並み再生による観光・地域振興等について

真庭市下砦部のあざえ商店街は、昭和初期に牛市をはじめとした市が開かれ、交通の結節点として栄えた商店街であり、当時は10軒以上の旅館があった。現在は、閑散とした街並みとなっており、その街並みの再生を図ろうと、昭和11年に建築された築80年以上の旧旅館を改築し、古民家カフェとして平成28年4月にオープンさせた。旧旅館は、昭和30年代後半まで営業していたが、後継者不足で30年以上空き家となっていたものであり、総務省の地域経済循環創造事業交付金を活用して再生した。地元農産物のスイーツ開発による6次産業化、高付加価値化による北房特産品の販路開拓、カフェを拠点に、地元商店街と共同した街並み再生を行い、商店街自体の観光のスポット化による地域振興に取り組んでいる。

<主な質疑等>

- ・地域資源、観光資源の活用、観光客の誘致方法等について
- ・キャッシュレス化推進の状況について



②岡山県真庭市役所（岡山県真庭市）

調査内容：バイオマスをテーマにした地域・観光振興について

岡山県北部に位置する真庭市は、8割を森林が占める森林資源の豊かな地域であり、古くから林業や製材業が盛んで、美作桧などの名木産地として有名であった。一方、国内木材市場の低迷などもあり、真庭市においては、かねてより市内の企業数社が、製材時に出るおがくずや端材、樹皮などの「木質系資源」をバイオマスとして活用する方策を、海外での活用例なども参考に、他の地域より先行して試行錯誤を重ねるなど、当市がもつ森林の価値を最大限に引き出す木質バイオマスについて先鞭をつけていた。このようにバイオマスの利活用が盛んとなる中、市をあげてバイオマスの資源循環を行おうと、平成18年に「バイオマスタウン」の構想が立ち上がった。さらに、市内のバイオマス関連企業への視察が急増していたことから、この頃に、真庭観光連盟に窓口を一本化し、市や関連企業と連携した「バイオマスツアー」を本格的にスタートさせた。現在では、この「バイオマス」が観光資源となり、多くのツアー客が訪れている。

<主な質疑等>

- ・資源バイオマスの集積、有機廃棄物資源化事業について
- ・観光客誘致の取組について



③一般社団法人地域商社あきおおた、温井ダム（広島県安芸太田町）

調査内容：ダムを活用した地域振興、観光振興等について

広島県北西部に位置する安芸太田町は、恐羅漢山や三段峡をはじめ、美しい山容を誇る西中国山地国定公園など豊かな自然環境に恵まれた太田川水系地域にある。この町には、高さ156mのアーチ式で、黒部ダムに次ぐ国内2番目の規模の温井ダムがある。見学設備や周辺の観光設備も整っており、広島市内から車で1時間ほどで行くことのできる隠れた観光名所となっている。ダムによって形成された人造湖は「龍姫湖」と命名され、ダム管理所の対岸には、遊具広場や芝生の広場があり、家族連れに人気である。近くには、道の駅来夢とごうちも整備されており、一般社団法人地域商社あきおおたが管理している。つくり手とお客をつなぐ「商社」「DMO」「道の駅」の総合機能を併せ持ち、安芸太田町の地域ブランドマネジメント、地域資源をいかした商品開発支援、着地型観光商品の開発・造成、町との連携や広域連携の推進、観光施策、まちブランディングにおけるの温井ダムとの連携・協力などに取り組んでいる。

<主な質疑等>

- ・観光客の推移、増加に向けた取組、ダム湖面の利用について
- ・周辺施設、道路等の整備における県の関与について



④公益財団法人広島コンベンションビューロー（広島県広島市）

調査内容：広島市周辺におけるインバウンド拡大に向けた取組について

公益財団法人広島観光コンベンションビューローは、国内外からの会議、大会、見本市などのコンベンションを誘致・開催支援するとともに、観光客の誘致や観光資源の整備・開発等を行うことにより、広島県におけるコンベンションや広島市とその周辺地域における観光の振興を図り、地域経済の活性化や国際相互理解の増進、文化の向上に寄与することを目的として設立された法人である。

当法人では、外国人観光客受入に取り組むたい広島の企業・店舗とインバウンド向け事業を行っている企業等をつなぐ「インバウンド受入ビジネスフェア」を開催するほか、国内での観光案内や海外プロモーション等での案内用としての10言語による広島観光ガイドブックの作成など、広島のインバウンド受入態勢の強化に努めるとともに、国内外の観光客への宣伝・誘致活動も推進している。

<主な質疑等>

- ・キャッシュレス化推進の状況、多言語ガイドブック作成の予算規模について
- ・インバウンド向けの食の対策・戦略、交通機関の取組について

